大和田囲碁同好会の足跡とこれから

大和田囲碁同好会　鈴木浩治　池田正三

はじめに

大和田囲碁同好会は、かつては大和田寿囲碁同好会といいました。平成元年11月に活動拠点8寿囲碁同好会の一つとして発足しました。創立に尽力したのは小池隆政氏で、平成元年から2年まで会長をされました。その後、平成 3 年～10年まで八木義光氏が会長に、平成11年～17年まで豊田弘伯氏が、平成18年～19年までは石田利雄氏が、平成20年～26年までは井出道明氏が、そして平成27年からは鈴木浩治が会長として会をまとめています。

会と大和田の歴史

活動場所は大和田市民センターです。この建物は、昔は小宮町役場でした。かつて大和田は神奈川県南多摩郡大和田村といわれました。明治22年に7村が小宮村として統合されます。明治 26 年に 南多摩郡が北多摩郡、西多摩郡とともに東京府へ編入され、小宮村は昭和 9 年に町制施行し小宮町となり、大和田は小宮町大字大和田と呼ばれます。昭和16年に小宮町は八王子市へ編入されます。昭和18年には大字大和田は大和田町として分離します。戦後、建物は水道局として使われ、第八小学校の分校ともなります。現在、大和田同好会が例会の場所としているのがこの大和田市民センターです。昭和58年に市で第一号の市民センターとしてスタートしたという歴史があります。

会の特色

平均年齢は75歳の囲碁同好者の集まりで、和気あいあいとした雰囲気で囲碁を楽しんでいます。会員数は若干の増減はありますが32名前後です。例会終了後に、年７～８回飲食品持ち込み 1,000 円会費での懇親会を催します。この懇親会では飲食がてらの対局、時には大盤を利用して全員参加の連碁等を楽しみ親睦を図っています。また、2 月、6 月、10 月には熱海での 1 泊囲碁研修と温泉を楽しむ会も催しています。

会の主な活動

活動は月 4 回定例会開催（日曜日 13 時-17 時、除く第 5 日曜日）　級位者か

ら高段者までが楽しく活動し、お互い研鑽に励んでいます。

・前期・後期に分けリーグ戦（名人戦）と二つのトーナメント戦（王座戦、天狗戦）を実施
・春と秋の年 2 回　同好会内のふれあい囲碁大会・懇親反省会の実施
・第 1 日曜日は約 2 時間を使い、全員参加の棋力向上を目的にした研修の実施
・八碁連関連囲碁大会の参加（H29 年度延べ 112 名）

写真１　例会風景

囲碁普及と会員獲得の試みと具体的取り組みについて次の 3 つを支援しています。
・秋開催の大和田市民センター祭りに参加して、囲碁祭り開催し、来訪者との対局と、お相手で囲碁の面白さを PR（H29 年度延べ 60 余名、H30 年度延べ 70 余名来訪）
・池田正三六段が主宰する毎週土曜日午前中開催の初心者研修会の応援

写真２　研修中

・大和田同好会・囲碁案内人の成田滋三段による近隣地域の第四小学校・第十小学校・大和田小学校で放課後子ども囲碁教室の応援

初心者研修会の活動状況

主に大人の初心者、初級者を対象に平成 29 年 4 月から「囲碁普及の会」を設立し、大和田同好会の支援を受けて囲碁教室を週 1 回、土曜日、午前（9 時から 12 時：3 時間）実施しております。会としては、囲碁を知らない人に少しでも囲碁の楽しさをわかっていただくなど囲碁人口を増やすことを主眼として、初段手前くらいまでの棋力になるまで育成し、その後、大和田同好会へ入会していただくという目標で取り組んでいます。

発足時、退職された方、あるいは子育てが終わった年代の方など余暇活動の一つとして、あるいは、趣味として囲碁に目を向けていただけるのではないかと大和田市民センター内で会員の募集を行いましたが、なかなか応募がなく、3名（女性のみ）からスタートしました。その後、出入りはありましたが、現在、登録メンバーは、小学生1名、大人の男性2名、女性2名の計5名です。

図3　初心者研修会

写真3　研修中

5名の方は、初めて囲碁を習う方、あるいは少しはわかる方、数 10 年ぶり始める方など様々で、レベルが違うこともあり、教える方も戸惑いまた、苦労する面があります。碁盤は、まだ 19 路盤では無理なので、9路盤、あるいは13路盤を使用して講座あるいは実戦を行っています。

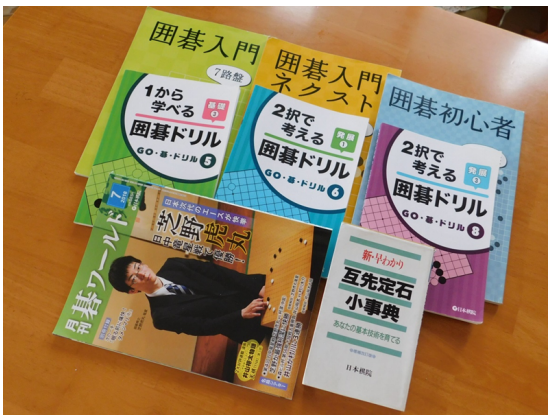

写真4　使用する初心者用教材

教材は、日本棋院から発行している入門、入門ネクスト、初心者の会員テキスト、ドリル、囲碁ワールドなどを中心に使用しています。現在、定石、布石、手筋、ヨセ、詰碁などを講義形式で通常1時間から1時間半程度行い、囲碁の基礎力を身に付けてもらうよう教えています。残りの時間は、同好会の会員とで13路盤で置碁の実戦を行い、局後にどの手が良かった、悪かった、こうすればよかったなどの打った手の再現を行いながら講評を行い、大局観を養い、少しでも価値のある手を打てるよう教えています。講師の方々の教え方に個性もにじみ出るようで、会員の方にとっては貴重な体験ともいえます。

会員の方の指導によって、現在のメンバーの棋力も確実に上がってきており、なるべく早くこの会を卒業してもらうことを願いながら、講師一同頑張っています。

写真５　例会後の研修風景